

中学生海外研修2024



オーストラリア直送レポート

Vol.3

2024.8.13 登校2日目

ドリップストーン校グループ／教育委員会社会教育課 本林

吉備中学校 平野

パーマストーン校グループ／教育委員会社会教育課 児玉

八幡中学校 熊ノ郷

【ドリップストーン校グループ】

今日は、9時から体育館で研修生を歓迎する集会を開いてもらいました。初めにドリップストーン校による音楽のパフォーマンスがあり、最前列に並べられた椅子に座って鑑賞しました。その後で、研修生たちは1人ずつ英語で1分間スピーチを発表しました。ドリップストーン校の生徒数は約570人で、大勢の前に立ちましたが、緊張は表に出さず練習の成果を発揮することができました。次の吉備中クイズでは、流暢に話そうと努力するだけでなく、スピーチの中にもユーモアのある話し方やリアクションを煽るというような個性を出した工夫が



見られ、堂々とした姿に感動しました。続いて、ソーラン節を披露しました。お揃いで黄色の法被を羽織った16人の動きが、細かいところまで揃っており、まさに圧巻の踊りでした。観覧している生徒も先生も大変盛り上がった様子で、研修生たちは達成感に満ち溢れていました。最後に制服をプレゼントしてもらい、さっそく1日着て過ごすほどに喜んでいました。



広い校内を案内してもらってから、2グループに分かれてドリップストーン校の生徒と混ざり3～5時間目の授業に参加しました。音楽、メディア、日本語、柔道が用意されており、それぞれのグループが、これらのうち3つを受けました。そして、音楽では楽器の演奏、メディアでは英会話の録音、日本語ではクイズやゲーム、柔道では組手の練習など、英語に苦戦しつつも現地の生徒と一緒に協力して楽しく学習することができました。また、1コマが60～65分と長かったり、昼休憩は13時20分～14時と遅めであったり、日本の学校生活との相違点を発見しました。



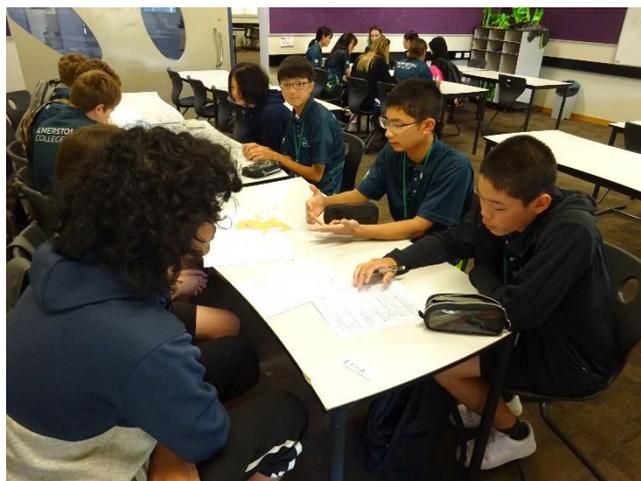
休憩時間中もたくさんの生徒に周りを取り囲まれて、研修生たちは大人気です。ゆっくり落ち着いてお昼ご飯を食べる暇もないくらい、積極的に話しかけられていました。廊下ですれ違う際には、日本語で挨拶をしてくれることもよくあります。異なる言語や文化を持つ人々との交流を経験し、研修生たちは充実した日々を送っています。



[パーマストン校グループ]

今日の朝は、前日と異なり、ローズベリーにある、7年生から9年生までが通うキャンパスに集合しました。日本でいう中学生が在籍している学校になります。集合して事務所で待っている間にも、声をかけてくれる現地学生がおり、日本語を勉強していて興味があると教えてくれました。

1時間目は、日本語のクラスです。研修生と現地学生がそれぞれ数名ずつのグループに分かれて、授業を進めていきます。まずは、現地学生がヒアリングシートを使いながら質問し、研修生はそれに答えていました。次に、折り紙が配られて、研修生たち



が現地学生たちに折り鶴の折り方を教えました。

教えるのに苦労している研修生もいましたが、無事完成することができました。また、日本の漫画やイラスト集を持ってきている現地学生がおり、それを一緒に見ながら会話をはずませていました。授業が終わりに近づくと、現地学生がシールやピンバッジなどをプレゼントしてくれる場面がありました。これは、研修生がうまくコミュニケーションをとることができていたということを感じました。やはり同年代の生徒同士ということで、緊張せずに会話がスムーズに進んでいったのではないのでしょうか。また、現地学生が授業を受けていると、それを見た隣の教室の現地学生も、ガラス越しに手を振ってくれるなど、研修生たちに興味津々の様子でした。滞在中にできるだけ多くの交流時間を確保したいと感じました。



日本語の授業が終わると、バスに乗って校外学習に出かけます。目的地は Crocodylus Park というワニがメインの動物園で、バスで15分くらいのところにあります。到着して、動物を少し見て回った後、ワニの赤ちゃんを抱っこしました。抱っこすることを知ったときには不安そうな顔をする研修生もいましたが、全員ワニを抱っこすることができました。

日本語の授業が終わると、バスに乗って校外学習に出かけます。目的地は Crocodylus Park というワニがメインの動物園で、バスで15分くらいのところにあります。到着して、動物を少し見て回った後、ワニの赤ちゃんを抱っこしました。抱っこすることを知ったときには不安そうな顔をする研修生もいましたが、全員ワニを抱っこすることができました。

次はジャンピングクロコダイルクルーズです。周囲が金網で囲われた船に乗りこみ出航です。ガイドさんが船を止めると、肉を紐でぶら下げた棒を客席の間から船外に伸ばし、肉で水面を叩きます。するとワニが水面を割って飛び出てきました。大きな個体だと自分の顔のあたりまで飛び上がってくるので、すごい迫力でした。

昼食をすませると自由時間となり、売店でおみやげを探したり、動物をゆっくり見たりしました。「ハロー」と言ってくるオウムがいたので、多くの研修生がオウムに声をかけていました。また、カンガルーのエリアには人が入る事ができたので、カンガルーにも触れることができました。

空いた時間には研修生同士で話す状態になりがちなので、英語でのコミュニケーションに、より積極的になってほしいと感じました。限られた時間を無駄にしないよう研修生をサポートしていきたいです。

